

附表

附表1 石造物観察表A

No.	ID	種別	型式	家紋位置	正面方向	刻字部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存区分	備考	石材
1	A001	墓碑	廟		南	内部位牌	享保14	1729	被：9代当主貴徳2女秀高月幻影童子		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
2	A002	墓碑	廟		南	内部位牌	享保16	1731	被：9代当主貴徳2男清五郎覺本幻性童子		乙	臨海庵に埋葬。後に改葬か。	反田土石
3	A003	墓碑	廟		南	内部位牌	宝永6	1709	被：8代当主忠直長女カヤ露幻稚白童子		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
4	A004	墓碑	廟		南	内部位牌	宝永5	1708	被：8代当主忠直長男安二郎秀巖幻松童子		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
5	A005	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	慶長20	1615	被：4代当主久信四男干法師		甲		反田土石
6	A006	墓碑	廟		南	内部位牌	安永5	1776	被：11代当主貴品長女圃袈装玉心霜露禪童女		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
7	A007	墓碑	廟	四方	南	内部位牌	天明4	1784	被：9代当主貴徳3女銀清淨院殿妙理日解大姉		甲	華嚴寺に埋葬。後に改葬か。朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
8	A008	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	元文3	1738	被：8代当主忠直室芳正院殿元明自覺大姉	宝珠無 相輪無	乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
9	A009	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	正徳元	1711	被：8代当主忠直性空院殿浄海即瀆大居士	宝珠無 相輪無	乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
10	A010	燈籠	D1類		東	塔身			献：忠直 (A009) 統：家臣？ 对：A012		乙		反田土石
11	A011	燈籠	D1類		東	竿			献：忠直 (A009) 統： 对：A013		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
12	A012	燈籠	D1類		北	竿	正徳元	1711	献：忠直 (A009) 統：家臣 对：A010	宝珠無 火袋無	甲	モルタルによる補修の痕跡が確認できる。	反田土石
13	A013	燈籠	D1類		西	竿			献：忠直 (A009) 統： 对：A011	宝珠無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
14	A014	石幢	六面地藏塔		南	幢身	元治2	1865	被：貴典 (F015) 献：貴教 (H016)		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
15	A015	墓碑	廟		南	内部位牌	享保15	1730	被：9代当主貴備長男鍋十郎雪庭幻消童子		乙		反田土石
16	A016	燈籠	D3類		西	塔身			献： 統： 对：	宝珠無 火袋無	甲	屋蓋、中台は別の固体の可能性あり	反田土石
17	A017	墓碑	廟		南	内部位牌					乙		反田土石
18	A018	墓碑	その他		南	塔身			献：A016 統： 对：		甲		反田土石
19	A019	石幢	六面地藏塔		南	幢身	元禄3	1690	被：久治室 (B013) 献：久治 (B014)		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
20	A020	燈籠	A類		南	塔身			献： 統： 对：	宝珠無 火袋無	甲	竿に節有	吉野石 (その他②)
21	A021	燈籠	A類		南	塔身			献： 統： 对：	宝珠無 火袋無	乙	竿に節有	吉野石 (その他②)
22	A022	手水鉢	A類		南	鉢			献： 統：		甲	断面六角形	吉野石 (その他②)
23	A023	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	大正元	1912	被：15代当主貴徳2女豊華蔓豊照姫命		甲		吉野石 (その他②)
24	A024	燈籠	D1類		西	塔身			献：豊 (A023) ? 統： 对：		乙		吉野石 (その他②)
25	A025	燈籠	A類		西	塔身			献：豊 (A023) ? 統： 对：	火袋無 中台無	甲	竿に節有	吉野石 (その他②)
26	A026	燈籠	A類		西	塔身			献：豊 (A023) ? 統： 对：		甲	竿に節有	吉野石 (その他②)
27	A027	石幢	六面地藏塔		南	幢身	元禄5	1692	被：久治 (B014) 献：忠直 (A009)		甲		花尾石
28	A028	燈籠	D3類		東	塔身			献：貴徳 (B003) 統：子貴暢 (連名) 对：		甲		吉野石 (その他②)
29	A029	手水鉢	A類		西	基礎			献：貴徳 (B003) 統：子貴暢 (連名)		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
30	A030	燈籠	その他		西	塔身			献：貴徳 (B003) ? 統： 对：A030		甲		吉野石 (その他②)
31	A031	燈籠	その他		西	塔身			献：貴徳 (B003) ? 統： 对：A031		甲		吉野石 (その他②)
32	A032	燈籠	その他		東	塔身			献：貴徳 (B003) ? 統： 对：A028		甲		吉野石 (その他②)
33	A033	燈籠	その他		東	塔身			献：貴徳 (B003) ? 統： 对：A029		甲		吉野石 (その他②)

附表1 石造物観察表A

No.	ID	種別	型式	家紋位置	正面方向	刻字部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存区分	備考	石材
34	A034	手水鉢	水鉢花立	西	西				献: 貴徳 (B003) ? 統: 対: A029		甲		吉野石 (その他②)
35	A035	手水鉢	A類		東	基礎			献: 貴徳 (B003) ? 統: 対:		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
36	B001	墓碑	廟			内部位牌					丙		反田土石
37	B002	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	大正15	1926	被: 15代当主貴徳室 足孫春栄姫命		甲		吉野石 (その他②)
38	B003	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	明治25	1892	被: 15代当主貴徳 梅恋風雅姫命		甲		吉野石 (その他②)
39	B004	燈籠	D3類		東	塔身			献: 貴徳 (B003) 統: 子貴暢 (連名) 対: B005	火袋無	甲		吉野石 (その他②)
40	B005	燈籠	D3類		東	塔身			献: 貴徳 (B003) 統: 子貴暢 (連名) 対: B004	火袋無 中台無	甲		吉野石 (その他②)
41	B006	燈籠	D1類		西	塔身			献: 貴徳 (B003) 統: 対: B007		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	吉野石 (その他②)
42	B007	燈籠	D1類		西	塔身			献: 貴徳 (B003) 統: 対: B006	火袋無	甲		吉野石 (その他②)
43	B008	燈籠	その他		東	塔身			献: 貴徳 (B003) 統: 対:		甲		吉野石 (その他②)
44	B009	燈籠	その他		東	塔身			献: 貴徳 (B003) 統: 対:		甲		吉野石 (その他②)
45	B010	燈籠	D1類		東	塔身	明治25	1892	献: 貴徳 (B003) 統: 対:		乙		吉野石 (その他②)
46	B011	手水鉢	A類		東	鉢			献: 貴徳 (B003) 統: 対:		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
47	B012	手水鉢	A類		西	鉢			献: 貴徳 (B003) 統: 対:		甲	断面六角形	吉野石 (その他②)
48	B013	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	元禄3	1690	被: 7代当主久治室 月清院殿期愈真珊大姉		乙		花尾石
49	B014	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	元禄5	1692	被: 7代当主久治 家徳院殿慈照海大居士		乙		花尾石
50	B015	燈籠	D1類		東	塔身			献: 久治 (B014) 統: 対: B017	宝珠無	甲		反田土石
51	B016	燈籠	D1類		東	塔身			献: 久治 (B014) 統: 対: B018	宝珠無	甲		反田土石
52	B017	燈籠	D1類		西	塔身			献: 久治 (B014) 統: 対: B015	宝珠無	甲		反田土石
53	B018	燈籠	D1類		西	塔身	元禄8	1695	献: 久治 (B014) 統: 家臣? 対: B016		甲		反田土石
54	B019	その他	層塔		西	塔身			献: 久治 (B014) 統: 対:	二層、三層部無。後世に作成したものを設置。	甲		花尾石
55	C001	燈籠	D3類						献: 貴澄長男 (C002) 統: 対:	火袋無	甲		反田土石
56	C002	墓碑	廟		南	内部位牌	宝暦8	1758	被: 10代当主貴澄長男 幻成浮月大禪童子		乙		反田土石
57	C003	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	大正2	1913	被: 14代当主貴教長女美能 豊足美能姫命		甲		吉野石 (その他②)
58	C004	燈籠	その他			塔身			献: 美能 (C003) 統: 対: C006		甲		吉野石 (その他②)
59	C005	燈籠	その他			塔身			献: 美能 (C003) 統: 対: C007		甲		吉野石 (その他②)
60	C006	燈籠	その他			塔身			献: 美能 (C003) 統: 対: C004		甲		吉野石 (その他②)
61	C007	燈籠	その他			塔身			献: 美能 (C003) 統: 対: C005		甲		吉野石 (その他②)
62	C008	手水鉢	A類			鉢			献: 美能 (C003) 統: 対:		甲		吉野石 (その他②)
63	C009	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	大正6	1917	被: 14代当主貴教3女益 澄渡操高益姫命		甲		吉野石 (その他②)
64	C010	燈籠	その他		東	塔身			献: 益 (C009) 統: 対: C012		甲		吉野石 (その他②)
65	C011	燈籠	その他		東	塔身			献: 益 (C009) 統: 対: C013		甲		吉野石 (その他②)
66	C012	燈籠	その他		西	塔身			献: 益 (C009) 統: 対: C010		甲		吉野石 (その他②)

附表1 石造物観察表A

No.	ID	種別	型式	家紋位置	正面方向	刻字部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存区分	備考	石材
67	C013	燈籠	その他		西	塔身			献: 益 (C009) 統: 对: C011		甲		吉野石 (その他②)
68	C014	手水鉢	A類		西	鉢			献: 益 (C009) 統: 对:		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
69	D001	墓碑	廟		南	内部 位牌	天保5	1834	被: 13代当主貴典長女雅 芳嘉院殿瑤池貞薫大禪童女		甲		反田土石
70	D002	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	文化14	1817	被: 12代当主貴柄室 涼相院殿殊林妙好大姉		甲	彫窪め朱	花尾石
71	D003	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	天保4	1833	被: 12代当主貴柄 靈源院殿雲静水大居士	宝珠無	甲		花尾石
72	D004	燈籠	D1類		南	塔身	文政8	1825	献: 貴柄室 (D001) 統: 对:	火袋無	乙		反田土石
73	D005	燈籠	D1類		東	塔身	天保2	1831	献: 貴柄室 (D001) 統: 对: D009		甲	宝珠の形状が宝塔の相輪状	反田土石
74	D006	燈籠	C類 または D類		西	塔身			献: 13代当主貴典長女雅 統: 对:	宝珠無 屋蓋無	乙		反田土石
75	D007	燈籠	D1類		東	塔身	文政元	1818	献: 貴柄室 (D001) 統: 貴典 (F015) 对:		甲		反田土石
76	D008	燈籠	D1類		東				献: 貴柄 (D003) 統: 对: D012		甲	竿の文様線刻で表現	反田土石
77	D009	燈籠	D1類		西	塔身	天保2	1831	献: 貴柄室 (D001) 統: 貴典 (F015) 对: D007		甲		反田土石
78	D010	燈籠	D1類		西	塔身	天保5	1834	献: 貴柄 (D003) 統: 貴典室 对: D005		甲	宝珠の形状が宝塔の相輪状	反田土石
79	D011	燈籠	D1類		西				献: 貴柄 (D003) 統: 对:		甲		反田土石
80	D012	燈籠	D1類		西	塔身			献: 貴柄 (D003) 統: 对: D008		甲	竿の文様線刻で表現	反田土石
81	D013	燈籠	D1類		西	塔身	天保4	1833	献: 貴柄 (D003) 統: 对:	宝珠欠	甲		反田土石
82	D014	石幢	六面 地藏塔		南	幢身			被: 忠紀室 (H009) 献: 久治 (B014)	中台欠	甲	幢身セメント補修	反田土石
83	D015	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	文久3	1863	被: 貴柄後室 献: 貴典 (F015)	幢身欠	甲		花尾石
84	D016	石幢	六面 地藏塔		南	幢身			被: 献:	屋蓋欠 中台欠	甲		花尾石
85	D017	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	寛政3	1791	被: 貴備 (F046) 献: 貴澄 (G002)	龕部風化	甲	朱	花尾石
86	D018	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	元文3	1738	被: 忠直室 (A008) 献: 貴備 (F046)	宝珠無 笠石欠 龕部欠 中台欠	甲		花尾石
87	D019	石幢	六面 地藏塔		南	幢身			被: 貴柄室 (D002) 献:	笠石欠 龕部欠 幢身欠	甲	朱 幢身短くなっている	花尾石
88	D020	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	正徳1	1711	被: 忠直 (A009) 献: 貴備 (F046)	笠石欠 龕部欠 幢身欠	甲	朱	花尾石
89	D021	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	天保4	1833	被: 貴柄 (D003) 献: 貴典 (F015)		甲	朱	花尾石
90	D022	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	文化14	1817	被: 貴品後室 献: 貴柄 (D003)		甲	朱	花尾石
91	H001	墓碑	宝篋 印塔		南				被:		甲		反田土石
92	H002	墓碑	宝篋 印塔		南				被:		乙		反田土石
93	H003	墓碑	その他		南				被:		甲	別固体(墓碑(廟))の笠が設置されている	反田土石
94	E001	墓碑	宝篋 印塔		南		文化14	1817	被: 11代当主貴品後室 芳岸院殿寒窓梅玉大姉		甲		花尾石
95	E002	燈籠	D1類		東		文久3	1863	献: 貴品後室 (E001) 統: 家臣 对: E005	宝珠欠 火袋欠	乙		反田土石
96	E003	燈籠	D1類		東		文久3	1863	献: 貴品後室 (E001) 統: 14代貴教夫婦 对: E006		甲		反田土石
97	E004	燈籠	D1類		東		文久3	1863	献: 貴品後室 (E001) 統: 13代貴典夫婦 对: E007		甲		反田土石
98	E005	燈籠	D1類		西		文久3	1863	献: 貴品後室 (E001) 統: 家臣 对: E002	宝珠無	甲		反田土石
99	E006	燈籠	C類 または D類		西		文久3	1863	献: 貴品後室 (E001) 統: 家臣 对: E003	宝珠欠 火袋無	乙		反田土石

附表1 石造物観察表A

No.	ID	種別	型式	家紋位置	正面方向	刻字部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存区分	備考	石材
100	E007	燈籠	D1類		西		文久3	1863	献：貴品後室（E001） 続：13代貴典夫婦 対：E004		甲		反田土石
101	E008	石幢	六面地藏塔		東	幢身	享保10	1725	被：坂元十右衛門盛基 惠安宗智庵主 続：久治（B014）家臣		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
102	E009	燈籠	その他		北	塔身			献：坂元十右衛門盛（E010） 続： 対：		甲	別個体の屋蓋が設置されている	吉野石（その他②）
103	E010	碑	亀跌碑		東	竿	享保10	1725	献：坂元十右衛門盛基 惠安宗智庵主 続：貴備（F046）		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	吉野石（その他①）
104	E011	墓碑	廟		南	内部位牌	明和9	1772	被：9代貴備4女邦		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
105	H004	石幢	六面地藏塔		南	幢身	天明6	1786	被：貴品室（F053） 献：貴柄（D003）		乙		花尾石
106	F001	墓碑	廟		南	内部位牌	天保5	1834	被：12代当主貴柄6男將益 淳聰院殿天貴智暁大居士		甲		反田土石
107	F002	燈籠	D1類		東	塔身			献： 続： 対：	宝珠無 火袋欠	乙		反田土石
108	F003	墓碑	廟		南	内部位牌	文政9	1812	被：12代当主貴柄4男將雄 英章院殿芳含智雄大居士		甲		反田土石
109	F004	墓碑	廟		南	内部位牌			被：		甲		反田土石
110	F005	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	元和9	1623	被：4代当主久信側室 幻心聚泡大禪定門		甲	台石に脚4基	反田土石
111	F006	墓碑	宝篋印塔		南				被：		乙		反田土石
112	F007	墓碑	宝篋院塔		南	内部位牌	文久3	1863	被：12代当主貴柄後室 清章院殿観室慈音大師	相輪無 宝珠無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
113	F008	燈籠	D1類		東	塔身	文政元	1818	献： 続： 対：		甲		反田土石
114	F009	燈籠	D1類		東				献：貴柄後室（F006） 続： 対：	火袋無	甲		反田土石
115	F010	燈籠	D1類		西	塔身			献：貴柄後室（F006） 続：家臣 対：		甲		反田土石
116	F011	墓碑	廟		南	内部位牌	天保9	1838	被：13代当主貴典3女銀 湖海幻殊禪童女		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
117	F012	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	明治9	1876	被：13代当主貴典室 眞注連張間姫命		甲	川添別荘地内に埋葬。後に改葬か。	吉野石（その他②）
118	F013	燈籠	その他		東	塔身	明治9	1876	献：貴典室（F011） 続： 対：F014		甲		吉野石（その他②）
119	F014	手水鉢	A類		東	鉢	明治9	1876	献：貴典室（F011） 続：		甲	断面四角形	吉野石（その他②）
120	F015	燈籠	その他		東	塔身	明治9	1876	献：貴典室（F011） 続： 対：F012		甲		吉野石（その他②）
121	F016	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	元治2	1865	被：13代当主貴典 賢徳院殿仁翁栖山大居士		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
122	F017	燈籠	D1類		東	塔身	元治2	1865	献：貴典（F015） 続： 対：F020	宝珠無 火袋無	甲		反田土石
123	F018	燈籠	D1類		東	塔身	元治2	1865	献：貴典（F015） 続： 対：F021	火袋無	甲		反田土石
124	F019	燈籠	D1類		西	塔身	元治2	1865	献：貴典（F015） 続： 対：	屋蓋欠	甲		反田土石
125	F020	燈籠	D1類		西	塔身	元治2	1865	献：貴典（F015） 続：14代貴敦 対：F017	屋蓋欠	甲		反田土石
126	F021	燈籠	C類		西	塔身	元治2	1865	献：貴典（F015） 続：15代貴徳 対：F018	屋蓋欠	甲		反田土石
127	H005	石幢	六面地藏塔		南	幢身	文化13	1816	被：貴品（F054） 献：貴柄（D003）		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
128	F022	墓碑	廟		南	内部位牌	文久3	1863	被：14代当主貴敦2女村 秋岸院殿花顔妙禪大師		甲		反田土石
129	F023	墓碑	廟		南	内部位牌	天保9	1838	被：13代当主貴典2男尚二郎 圭林幻光禪童子		甲		反田土石
130	F024	燈籠	D1類		南	塔身	天保5	1834	献：尚二郎（F023） 続：家臣 対：	宝珠無 火袋無	甲	別個体の屋蓋・宝珠が設置されている	反田土石
131	F025	燈籠	D1類		東	塔身	文久3	1863	献：村（F022） 続：家臣 対：	宝珠無 火袋無	甲		反田土石
132	F026	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	昭和15	1940	被：14代貴敦養子勝彦		甲		吉野石（その他②）

附表1 石造物観察表A

No.	ID	種別	型式	家紋位置	正面方向	刻字部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存区分	備考	石材
133	F027	燈籠	D1類		東	塔身			献：(F026) 統： 対：F029		甲		吉野石 (その他②)
134	F028	燈籠	C類 または D類		東	塔身			献：(F026) 統： 対：	宝珠無 火袋無 中台無	甲		吉野石 (その他②)
135	F029	燈籠	その他		西	塔身			献：(F026) 統： 対：F027		甲	形状はD類を模している	吉野石 (その他②)
136	F030	手水鉢	A類		西	鉢			献：(F026) 統：		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
137	F031	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	寛永14	1637	被：4代当主久信 昌嶽元盛居士		甲	鹿屋安養寺に埋葬。昭和46年に改葬。	反田土石
138	J001	墓碑	その他		南		昭和43	1968	被：16代当主貴暢 16代貴暢室		甲	初代忠将(心翁大安大居士)、3代彰久(天宗慈雲大禪定門)、4代久信(昌嶽元盛居士)も合葬	その他
139	H006	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	貞享4	1687	被：忠紀(H010) 献：久治(B014)		甲		花尾石
140	H007	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	文政7	1824	被：貴澄室(G001) 献：貴品(F054)		甲		花尾石
141	H008	石幢	六面 地藏塔		南	幢身	文化4	1807	被：貴澄(G002) 献：貴品(F054)		甲		花尾石
142	H009	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	万治1	1658	被：6代当主忠紀室 蘭秀白芳大姉		甲		反田土石
143	H010	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	正保4	1647	被：6代当主忠紀 陽廣院殿鴻臚御玉峯英閑大居士		甲	江戸廣岳院に葬る。遺骨を節心寺(心翁寺)に。	反田土石
144	H011	手水鉢	A類		東	鉢			献：忠紀室(H010) 統：		甲	断面六角形	反田土石
145	H012	燈籠	D1類		南	塔身			献：忠紀室(H010) 統： 対：H014	宝珠無 火袋無	甲	竿に節有	反田土石
146	H013	燈籠	D1類		南	塔身			献：忠紀室(H010) 統： 対：H015	宝珠無 火袋無	甲	竿に節有	反田土石
147	H014	燈籠	C類		南	塔身			献：忠紀室(H010) 統： 対：H012	火袋無	甲	竿に節有	反田土石
148	H015	燈籠	D1類		南	塔身			献：忠紀室(H010) 統： 対：H013		甲	竿に節有	反田土石
149	F032	手水鉢	A類		東	鉢			献：爲之(F033) 統：		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
150	F033	墓碑	尖頭 角柱形		南	塔身	明治3	1870	被：14代貴教3男爲之		甲		吉野石 (その他②)
151	F034	墓碑	尖頭 角柱形		南	塔身	明治24	1891	被：14代当主貴教養子榮吉 嚴榊榮吉彦命		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	吉野石 (その他②)
152	F035	墓碑	尖頭 角柱形		南	塔身	大正9	1920	被：島津勝彦6男豊彦		甲		吉野石 (その他②)
153	F036	燈籠	その他		西	塔身	明治14	1881	献：榮吉(F034) 統： 対：		甲		吉野石 (その他②)
154	F037	手水鉢	A類		南	鉢	明治14	1881	献：榮吉(F034) 統：		甲	断面六角形	吉野石 (その他②)
155	F038	墓碑	尖頭 角柱形		南	塔身	明治9	1876	被：15代貴徳長男久秀		甲		吉野石 (その他②)
156	F039	燈籠	その他		東	塔身			献：(F038) 統： 対：		甲		吉野石 (その他②)
157	F040	手水鉢	A類		西	鉢			献：(F038) 統：		甲	断面四角形	吉野石 (その他②)
158	F041	墓碑	尖頭 角柱形		南	塔身	明治17	1884	被：15代当主貴徳長女鶴 澄渡鶴音姫命		甲		吉野石 (その他②)
159	F042	燈籠	その他		西	塔身	明治17	1884	献：鶴(F041) 統： 対：		甲		吉野石 (その他②)
160	F043	手水鉢	A類		西	鉢	明治17	1884	献：鶴(F041) 統：		甲	断面六角形	吉野石 (その他②)
161	F044	墓碑	廟		南	内部 位牌	宝暦11	1761	被：9代当主貴徳6男將親 清雲院圓明月心大居士		甲		反田土石
162	F045	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	元文1	1736	被：9代当主貴徳室 運池院殿即心成覚大姉	宝珠無 相輪無 笠欠	甲	8代当主忠直の娘 朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
163	F046	墓碑	宝篋 印塔		南	塔身	寛政3	1791	被：9代当主貴徳 量泰院殿寛應靜山大禪伯	宝珠無 相輪無 笠欠	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
164	F047	燈籠	F類		東	塔身			献：貴徳(F045) 統：島津久寧夫婦 対：F050	宝珠無	甲	屋蓋断面円形	反田土石
165	F048	燈籠	D1類		南	塔身	寛政3	1791	献：貴徳(F045) 統：菱刈實祐夫婦 対：F051	宝珠無 火袋無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石

附表1 石造物観察表A

No.	ID	種別	型式	家紋位置	正面方向	刻字部分	和暦	西暦	対応関係	遺存状況	遺存区分	備考	石材
166	F049	燈籠	D1類		南	塔身	寛政3	1791	献：貴備 (F045) 統：島津久柄夫婦 対：F052	宝珠無 火袋無	甲		反田土石
167	F050	その他	火縄銃型		南	塔身	寛政3	1791	献：貴備 (F045) 統： 対：F047	火縄部欠 鉄砲部欠	甲	貴備は砲術に秀で、宗家25代当主重豪の鉄砲指南も勤めたことから、火縄銃の火縄、鉄砲、火薬袋の意匠が用いられている。	吉野石 (その他①)
168	F051	燈籠	C類		南	塔身	文化3	1806	献：貴備 (F045) ? 統： 対：F048	宝珠無 火袋無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
169	F052	燈籠	D1類		南	塔身	寛政3	1791	献：貴備 (F045) 統：川上久備 対：F049	宝珠無	甲		反田土石
170	F053	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	天明6	1786	被：11代当主貴品室 清蘭院殿王室貞香大姉		乙	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
171	F054	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	文化13	1816	被：11代当主貴品室 宝覚院殿仁峯宗寛大居士	宝珠無 相輪無 笠欠	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
172	F055	燈籠	D1類		東	塔身	天明8	1788	献：貴品室 (F053) 統：貴品 対：F056	宝珠無	甲		反田土石
173	F056	燈籠	D1類		北	塔身	天明8	1788	献：貴品室 (F053) 統：貴品 対：F055		甲	別個体の宝珠？	反田土石
174	F057	燈籠	D1類			塔身			献：貴品 (F054) 統： 対：	火袋無	甲		反田土石
175	F058	燈籠	D3類		西	塔身			献：貴品 (F054) 統： 対：	火袋無	甲		反田土石
176	F059	燈籠	C類		西	塔身	文化13	1816	献：貴品 (F054) 統： 対：F060	宝珠無	甲		反田土石
177	F060	燈籠	D1類		西	塔身	文化13	1816	献：貴品 (F054) 統： 対：F059		甲		反田土石
178	G001	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	文政7	1824	被：10代当主貴澄室 慈誠院殿親月妙相大姉	宝珠無 相輪無 笠欠	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
179	G002	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	文化4	1807	被：10代当主貴澄 景徳院殿惣山元看大居士	宝珠無 相輪無 笠欠 塔身欠	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	花尾石
180	G003	燈籠	D1類		北	塔身	文政7	1824	献：貴澄室 (G001) 統： 対：G006		甲		反田土石
181	G004	燈籠	C類		東	塔身	文化5	1808	献：貴澄 (G002) 統： 対：G007		甲		反田土石
182	G005	燈籠	D1類		東	塔身	文化5	1808	献：貴澄 (G002) 統： 対：G008	火袋無	甲		反田土石
183	G006	燈籠	D1類		西	塔身	文化5	1808	献：貴澄 (G002) 統： 対：	火袋無	甲		反田土石
184	G007	燈籠	D1類		西	塔身			献：貴澄 (G002) 統： 対：G004	宝珠無	甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	反田土石
185	G008	燈籠	C類		西	塔身	文化5	1808	献：貴澄 (G002) 統：貴澄室 (G001) 対：G005	宝珠無	甲		反田土石
186	H016	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	明治23	1890	被：14代当主貴教 亀遊教彦命		甲	朱塗りの痕跡が確認できる。	吉野石 (その他②)
187	H017	燈籠	その他		西	塔身			献：貴教 (H016) 統： 対：H018		甲		吉野石 (その他②)
188	H018	燈籠	その他		東	塔身	明治23	1890	献：貴教 (H016) 統： 対：H018		甲		吉野石 (その他②)
189	H019	燈籠	D1類		東	塔身			献：貴教 (H016) 統： 対：		甲	別個体の屋蓋が設置されている	吉野石 (その他②)
190	H020	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	正保4	1647	被：坂元九郎右衛門正安斎 統：忠紀家臣 対：H021		甲	忠紀への殉死墓 塔身の断面六角形	反田土石
191	H021	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	正保4	1647	被：田中傳兵衛正興斎 統：忠紀家臣 対：H020		甲	忠紀への殉死墓 塔身の断面六角形	反田土石
192	H022	手水鉢	A類		西	鉢	明治23	1890	献：貴教 (H016) 統： 対：		甲	断面六角形	吉野石 (その他②)
193	F061	墓碑	その他		東	塔身			被：		甲		反田土石
194	G009	手水鉢	B類		東	鉢	寛政3	1791	献：貴備 (F046) 統： 対：		甲		反田土石
195	I001	墓碑	廟		南	内部位牌	天保14	1843	被：13代貴典4男哲袈裟		乙		反田土石
196	I002	墓碑	尖頭角柱形		南	塔身	明治10	1877	被：14代当主貴教室 心和八百足姫命		甲		吉野石 (その他②)
197	I003	燈籠	その他		東	塔身			献：貴教室 (I002) 統： 対：		甲		吉野石 (その他②)
198	K001	墓碑	宝篋印塔		南	塔身	寛永元	1624	被：5代当主久敏 節心良忠大居士	宝珠欠 相輪欠 笠欠	甲		反田土石

附表2 石造物観察表B

No	ID	種別	刻字内容			
			正面 (①)	左 (②・③)	背面 (④)	右 (⑤・⑥)
1	A001	墓碑	高月幻影童子 八月十九日			
2	A002	墓碑	覺本幻性童子			
3	A003	墓碑	露幻稚白童子 五月十五日			
4	A004	墓碑	秀巖幻松童子 四月十三日			
5	A005	墓碑	改號 精才千足□命			慶長二十□乙卯 千法師
6	A006	墓碑	玉心齋齋禪童女			
7	A007	墓碑	天明四甲辰 清淨院殿妙理日解大姉 八月二十五日			
8	A008	墓碑	元文三戊午自 芳正院殿元明自覺大姉 二月十有一日薨	改號 花細櫻刀自命		
9	A009	墓碑	正徳元天 性空院殿淨海即瀝大居士 辛卯林□念六月二十五日	改號 □依國巖光彦命		
10	A010	燈籠	奉寄進石燈籠		…衛門 …□真	
11	A011	燈籠	□寄進石燈籠□	九月吉祥辰	□正院□□□	
12	A012	燈籠	奉寄進石燈籠	九月吉祥辰	町田明兵衛 忠顕	正徳元辛□□
13	A013	燈籠				
14	A014	石幢	爲賢徳院殿仁翁酒山大居士	正月十有八日	島津貴教謹立焉	元治二乙丑歳
15	A015	墓碑	雪庭幻消童子			
16	A016	燈籠				
17	A017	墓碑	…大□子			
18	A018	墓碑	奉寄進	末野□衛門之墓		寛政□□□七日
19	A019	石幢	爲月清院殿湖窓貞珊大姉菩提	元禄三年庚午歳二十三日 于□元禄三庚午雪月□立	島津玄蕃與方□	嶋津久治立焉 曾元禄三庚午歳
20	A020	燈籠	猷燈 内□勇吉			
21	A021	燈籠	猷燈 手塚ナヲ 池田夕子			
22	A022	手水鉢	奉献 高橋千代 鮫島やえ 有留千代	中尾やえ 佐伯ゆき		黒木□子 赤塚志□
23	A023	墓碑	大正元年 華曼豊照姫命	十月二十日	又四部貴徳 二女豊子 満二十六歳	明治十九年十月二十九日生
24	A024	燈籠				
25	A025	燈籠	奉献			
26	A026	燈籠	奉献 橋口ヒカ 岩元せい 桑波田 之□ 桑波田 之□			
27	A027	石幢	且慈鑑照海大居士菩提	…薨 …久治墓	□□元禄三雪月□	□元禄五壬申歳 …施主敬白
28	A028	燈籠	燈納 島津貴暢 島津貴晴			
29	A029	手水鉢	水洗 島津貴暢 島津貴晴			
30	A030	燈籠	久安			
31	A031	燈籠	橋口安彦 宮原景吉			
32	A032	燈籠	貴晴			
33	A033	燈籠	肥後幸盛 宮原景吉			
34	A034	手水鉢				
35	A035	手水鉢				
36	B001	廟				
37	B002	墓碑	足操春栄姫命	明治元年四月九日生 大正十五年一月二十七日没	島津春子	行年五九
38	B003	墓碑	梅窓風雅雄命	萬延元年三月二十八日生		明治二十五年六月十一日没
39	B004	燈籠	猷燈 島津貴暢 島津貴晴 島津久安			
40	B005	燈籠	猷燈 島津貴暢 島津貴晴 島津久安			
41	B006	燈籠	奉献			島津貴暢 □子 とよ
42	B007	燈籠	奉献			川上 繁 宮迫 龍輔
43	B008	燈籠	奉献 宮原景吉 橋口康彦			
44	B009	燈籠	奉献 杉尾□吉 宮原景豊小 東一彦			
45	B010	燈籠	奉献	町田貞道 町田保□ 大山榮蔵	富田宗裕 小田鉄治	明治二十五年六月十一日
46	B011	手水鉢	奉献			
47	B012	手水鉢	奉献			
48	B013	墓碑	曾元禄三庚午歳 月清院殿湖窓貞珊大姉 九月二十三日	改號 月桂真浄姫命		
49	B014	墓碑	曾元禄五壬申歳 聚徳院殿慈鑑照海大居士 七月二十七薨	改號 百足八十圍祇命		
50	B015	燈籠				
51	B016	燈籠	奉寄進石燈籠	□吉祥□辰		
52	B017	燈籠				
53	B018	燈籠	奉寄進石燈籠		□次部兵衛久□	元禄八乙亥茂

附表2 石造物観察表B

No	ID	種別	刻字内容			
			正面 (①)	左 (②・③)	背面 (④)	右 (⑤・⑥)
54	B019	その他				
55	C001	燈籠				
56	C002	墓碑	幻成淨月大禪童子			
57	C003	墓碑	豊足美能姫命	嘉永五年十二月二十九日生		大正二年十二月二十一日没
58	C004	燈籠	猛子 勝彦			
59	C005	燈籠	橋口安彦 宮原景吉			
60	C006	燈籠				
61	C007	燈籠	肥後幸盛 宮原景吉			
62	C008	手水鉢	猷奉			
63	C009	墓碑	澄渡操高益姫命	安政六年五月二十日生	貴教三女 島津マス子	大正六年十月二十五日
64	C010	燈籠				
65	C011	燈籠	橋口安彦 宮原景吉			
66	C012	燈籠	春子 貴暢 幾子 貴晴			
67	C013	燈籠	肥後幸盛 宮原景吉			
68	C014	手水鉢	猷奉			
69	D001	墓碑	天保五申午歳 芳靈院殿瑤池貞薫大禪童女 六月十有三日			
70	D002	墓碑	文化十四丁丑年 涼相院殿殊林妙好大姉 七月二十有九日			
71	D003	墓碑	天保四年癸巳 靈源院殿吹雲静水大居士 十月初四日	改號 活盡足園彦命		
72	D004	燈籠	奉寄進		文政八年□□七月	末川昌之介 末川雄之介 末川主水
73	D005	燈籠	奉寄進	天保二…九月日		清章院
74	D006	燈籠	奉寄進	和田強大夫 □信		
75	D007	燈籠	奉寄進		文政元年戌□七月	貴典
76	D008	燈籠				
77	D009	燈籠		貴典内		天保二年申午九月日
78	D010	燈籠		清章院		天保五年申午九月日
79	D011	燈籠				
80	D012	燈籠			文…七月日 貴明	
81	D013	燈籠	奉寄進		天保四年癸巳五月日	
82	D014	石幢	爲蘭秀白芳大姉菩提□	季□廿八日		千□□□元□天
83	D015	石幢	□□院殿禪室慈音大姉菩提	…月二十九日	…津貴…立焉	文久三年癸亥
84	D016	石幢	…菩提	…立焉	…墓?	…月吉祥日 …丙辰星
85	D017	石幢	爲量泰院殿寬應静山大禪伯菩提	三月初十日	嶋津貴澄謹立焉	寛政三年辛亥天
86	D018	石幢	…大姉菩提	…喪 …備謹立焉		…吉祥天 元文三戌午天
87	D019	石幢	…林妙好大姉菩提		…墓?	…丑天
88	D020	石幢	…海即瀨大居士菩提	正徳元辛卯星 …四申戌天雪月吉祥日		…津貴備謹立焉 …二十五亥
89	D021	石幢	爲靈源院殿吹雲静水大居士菩提	…喪十月初四日	島津貴典謹立焉	天保四年癸巳歳
90	D022	石幢	爲芳岸院殿寒窓梅玉大姉菩提	五月初四日	島津貴明謹立焉	文化十四丁丑天
91	H001	墓碑				
92	H002	墓碑	□自立大居士 六月二十九日			
93	H003	墓碑				
94	E001	墓碑	芳岸院殿寒窓梅玉大姉	文化十四年五月四日		
95	E002	燈籠	奉獻	桂休山	文久三年□□四月吉日	
96	E003	燈籠	奉獻		文久三年□□四月吉日	嶋津貴教夫婦
97	E004	燈籠	奉獻		文久三年□□四月吉日	嶋津貴典夫婦
98	E005	燈籠	奉獻	桂休山	文久三年□□四月吉日	
99	E006	燈籠		山田悦久 山田元千	文久三年□□四月吉日	
100	E007	燈籠	奉獻	嶋津貴典夫婦	文久三年□□四月吉日	
101	E008	石幢	惠安宗智庵主菩提	十二月十有三日		…□十七巳天
102	E009	燈籠				
103	E010	碑	第三章參照			
104	E011	墓碑	明和九 清靈院殿覺妙夫大姉 十一月七日			
105	H004	石幢	清靈院殿玉室貞香大姉	九月十日	嶋津玄蕃貴品奥方	天明六丙午年
106	F001	墓碑	天保五年甲午十月吉日 淨聰院殿天質智暎大居士 十月十七日			
107	F002	燈籠				
108	F003	墓碑	文政九年丙戌 英章院殿芳舎智雄大居士 三月十有二日	改號 小夷…命		
109	F004	墓碑	慈雲院殿覺峯道林大姉 九月二十三日			
110	F005	墓碑	元和九 幻心聚泡大禪定門			

附表2 石造物観察表B

No	ID	種別	刻字内容			
			正面 (①)	左 (②・③)	背面 (④)	右 (⑤・⑥)
111	F006	墓碑				
112	F007	墓碑	清章院殿観室慈音大姉	文久三年二月廿九日		
113	F008	燈籠	奉寄進	文政元年□七月吉日 やや □□ かん てふ	きよ ふみ みき	
114	F009	燈籠				
115	F010	燈籠	奉寄進	清田金石衛門真保 川上六郎兵衛親盈 伊集院吉右衛門□〇	文政……七月吉日	和田次郎右衛門助有 伊集院八兵衛兼負 町田賀右衛門實勝 町田勘右衛門實秘
116	F011	墓碑	天保九戊戌年 洞海幻殊禪童女 七月初四日	改號 …口根□畔命		
117	F012	墓碑	眞注連張間姫命		明治九年丙子八月七日	
118	F013	燈籠	奉獻 丙子十一月吉日 □山吉兵			
119	F014	手水鉢	奉獻 明治九年子十一月吉日 宮田□太郎 有馬工右衛門 戸高新十郎			
120	F015	燈籠	猷燈 丙子十一月吉日 嶋津□□ 夫□ 嶋津實□			
121	F016	墓碑	元治二乙丑歲 賢徳院殿仁翁栖山大居士 正月十有八日	改號 玉刻春壽長彦命		
122	F017	燈籠	奉獻		元治二年乙丑三月吉日	…公
123	F018	燈籠	奉獻		元治二年乙丑三月吉日	
124	F019	燈籠	奉獻	いよ ふて たけ	元治二年乙丑三月吉日	
125	F020	燈籠	奉獻		元治二年乙丑三月吉日	島津貴教
126	F021	燈籠	奉獻	島津貴徳	元治二年乙丑三月吉日	
127	H005	石幢	爲宝覚院殿仁峯宗寛大居士菩薩	九月十日	島津貴明謹立焉	文化十三丙子天
128	F022	墓碑	文久三年 秋岸院殿花顔妙權大姉 七月二十有五日			
129	F023	墓碑	天保五年 圭林幻光禪童子 十月二十一日			
130	F024	燈籠	奉寄進石燈籠		安山休佑衛門親憑	天保五年甲午十月廿一日
131	F025	燈籠	奉寄進	高野□右衛門 昌功		文久三亥年八月吉日
132	F026	墓碑	故陸軍歩兵少尉正八位 島津勝彦墓	昭和十五年九月九日治死	享年五十一歳	明治二十年二月十四日生
133	F027	燈籠	燈納 島津貴暢 島津貴晴			
134	F028	燈籠	燈納 島津孝彦 島津節子 島津正 島津保子	島津禮介 豊田福太郎 豊田益子		
135	F029	燈籠	燈納 島津禮介 島津安子 島津正 島津節子 島津孝彦			豊田益子 豊田福太郎
136	F030	手水鉢	水洗 島津孝彦 外一同			
137	F031	墓碑	寛永十四年 昌嶽元盛居士 丁年五月十一日□		改號□巖中御柱彦命	
138	J001	墓碑	島津家の墓		昭和四十三年十月吉日 島津草子建之	
139	H006	石幢	爲陽廣院殿玉峯英閼大居士菩提	八月二十二日島 嶋津久治謹建焉		干時貞享四丁卯天九月吉祥日 昌正保四丁亥歳
140	H007	石幢	慈誠院殿観月妙相大菩薩	…□七日		文政七甲申歳
141	H008	石幢	爲景徳院殿恕山元宥大居士菩薩	三月初五奠	島津貴品謹立焉	文化四丁卯天
142	H009	墓碑	蘭秀白芳大姉			
143	H010	墓碑	陽廣院殿鴻臚卿玉峯英閼大居士			
144	H011	手水鉢	奉水 肥後テイ 二宮アキ 馬場ヨシ			
145	H012	燈籠				
146	H013	燈籠				
147	H014	燈籠				
148	H015	燈籠				
149	F032	手水鉢	奉獻 庚午四月吉日	有馬… 高田…		
150	F033	墓碑	雅豊爲之進佑命墓			
151	F034	墓碑	巖榊榮吉彦命		通称榮吉	明治十一年八月三日生 明治十四年二月十五日卒 旧五月七當
152	F035	墓碑	釋淨口	大正七年十月□日生	島津勝彦六男 豊彦 三男	大正九年五月二日天
153	F036	燈籠	奉獻 川上涉			明治十四年三月五日
154	F037	手水鉢	奉獻 千□ □□			明治十四年三月五日
155	F038	墓碑	雅靈秀照昆古命墓		俗名末川久秀	明治九年丙子十一月十日

附表2 石造物觀察表B

No	ID	種別	刻字内容				
			正面(①)	左(②・③)	背面(④)	右(⑤・⑥)	
156	F039	燈籠	天君之早世□□ 獻燈 □十一□復□□ 轉爲□八				
157	F040	手水鉢					
158	F041	墓碑	明治十七年 澄波鶴音姫命 七月十三日				
159	F042	燈籠	獻燈 富田宗祐	明治十年丁丑 □□ 山田		明治十七年九月	
160	F043	手水鉢	奉獻			明治十七年九月	
161	F044	墓碑	宝曆十一年 清雲院圓明月心大居士 十一月七日				
162	F045	墓碑	蓮池院殿即心成覺大姉				
163	F046	墓碑	量泰院殿寬應靜山大禪伯				
164	F047	燈籠	進獻 島津左衛門久寧夫婦 島津出雲久良夫婦	赤山三元丞久包	…亥年七月十日袋		
165	F048	燈籠	奉寄進石燈一基	菱刈大炊隆昌夫婦 菱刈□□實祐夫婦 菱刈莊之進普門夫婦	寛政三年辛亥八月日		
166	F049	燈籠	奉拜進 島津主水久柄夫婦 島津□土久道夫婦		寛政三年…		
167	F050	その他		島津□□□救 野村小平次盛□昌 島津左衛門久統 坂元彦右衛門清寧 菱刈大炊實祐 春山進□直道 小林仲大三衛政夫 二階堂榮之助秀佐	寛政三年辛亥 郷原金太夫久奉 進獻 郷原勝五郎久富 十月□月日 菱刈莊之進實門 本田六左衛門親兵 石原次郎□道 葉丸右衛門兼陳 □□六郎祐清 平田長太夫廣通 □□右衛門政辰	奈良原傳□ □□二十貞□ 本田七右衛門□□ 南雲新左衛門良之	岩下八郎方睦 田中□水宋政 愛甲源五郎廣中 兒玉休□實澄 村田龍衛門征奉 兒玉珠□實有
168	F051	燈籠	奉寄進	末川周山久救 □□□□ □□□□ 島津□久□	□□院 文化三年□□三日 □□院		
169	F052	燈籠	□進石燈一基		寛政三年辛亥七月日	川上久馬久徳	
170	F053	墓碑	天明六丙午天 清蘭院殿玉室貞香大姉 九月十日	改號 玉椿茂葉姫命			
171	F054	墓碑	寶覺院殿仁峯宗寛大居士				
172	F055	燈籠	貴品 天明八年戊申九月十日立焉				
173	F056	燈籠	貴品 天明八年戊申九月十日立焉				
174	F057	燈籠					
175	F058	燈籠	奉寄進	寛政…		末川… 末川主□…	
176	F059	燈籠	拜進 島津久亮夫婦 島津久風夫婦 久亮 母 赤山久包	文化十三年丙子六月			
177	F060	燈籠	奉…	… … 嶋津…	末川□山久□ 文化十三年丙子六月 窓芳院 樹□院	末川將□久治 菱川… 川上右進□□	
178	G001	墓碑	慈誠院殿親月妙相大姉				
179	G002	墓碑	文化四年 景徳院殿懇山元有大居士 三月五日	改號 味凍能綾賢雄命			
180	G003	燈籠	奉寄進		文政七年甲申八月日		
181	G004	燈籠	□寄進		文化五□…		
182	G005	燈籠	奉寄進		文化五年戊辰三月日		
183	G006	燈籠	奉寄進		壽昌院 文化五年戊辰三月日 □□院		
184	G007	燈籠			…月日		
185	G008	燈籠	奉寄進		文化五年戊辰三月日	慈誠院	
186	H016	墓碑	明治二十三年 島津貴教彦命墓		□□島津龜遊	明治二拾三年三月二十日没 享年五拾八年一月 旧曆庚寅四月三日當	
187	H017	燈籠	奉獻 □□ □□ 榮吉	勝彦 □□ ふさ			
188	H018	燈籠	奉獻		明治廿三年六月日	とよ □□丸 □□ 島津又四郎	
189	H019	燈籠	奉獻			富迫龍輔 川上 繁	
190	H020	墓碑	坂元九郎右衛門正安斎		心路將安信士		
191	H021	墓碑	田中傳兵之正興斎				
192	H022	手水鉢	奉進獻 小田歎□ 友重富吉		明治二十三年六月日		
193	F061	墓碑	□寄□	村井…			
194	G009	手水鉢	奉寄進	寛政三年辛亥八月日清頼			
195	I001	墓碑	□天保十四年癸卯 哲相院殿秋苗不秀禪童子 閏九月二日				
196	I002	墓碑	心和八百足姫命		号八百	明治十年七月十七日没 旧六月七日當	
197	I003	燈籠	奉獻				
198	K001	墓碑	寛永元年 節心良忠大居士 十月十三日		改號 八□□□		

附表3 遺物観察表

報告書 番号	調査区	層	遺物種別・ 器種・型式	部位	法量 (cm)			胎土	色調 (上段:外面, 下段:内面)	時期	備考
					口径	底径	器高				
1	2T	Ⅲ	香炉	口-胴部	10.0			微細な黒色粒, 白色粒, 石英を多く含む。基質は 緻密	7.5Y5/3 10YR5/2		関西系か?
2	2T	Ⅲ	瓶	胴-底部		6.9		微細な黒色粒, 白色粒, 石英を少量含む。基質は 粗い	2.5Y8/2 (基質)7.5YR6/4 7.5YR6/3	19c	龍門司焼
3	2T	I	瓶	胴部?				0.5mm大の黒色粒を多 く含む	2.5GY8/2 (基質)5Y7/2 2.5Y8/2	19c	薩摩磁器か?
4	2T	Ⅲ	香炉	底部		5.2		1mm大の白色粒を多く 含む	2.5YR5/6 2.5YR5/6		
5	2T	I	皿?	底部				0.5mm以下の白色粒を 含む。基質の粒度が粗い	2.5Y8/1 2.5Y8/3		白薩摩、染付
6	3T	Ⅳ	土師質土器	口縁部				白色粒, 黒色粒	7.5YR6/8 10YR8/4		香川系 赤色塗布
7	3T	Ⅱ	土師質土器	底部				白色粒, 赤色粒	7.5YR6/4 7.5YR6/4		底部は糸切り後ナア調整
8	3T	?	土師質土器 小皿	口-底部	9.0	7.2	2.5	微細な黒色粒, 石英, 1.5mm大の砂粒	10YR8/3 10YR8/4		灯明皿
9	3T	?	小皿	口-底部	10.2	4.5	2.4	0.5-1.0mm大の黒色粒, 基質は緻密	10YR2/2 (未施釉)7.5YR5/2 10YR3/4		加治木・始良系 灯明皿
10	3T	Ⅱ		口-底部	11.6	3.5	2.7	黒色粒, 白色粒	5Y8/3 (基質) 2.5Y8/3 5Y8/3		白薩摩 仏飯具
11	3T	?	瓶	胴-脚部		11.1		微細な黒色粒	5Y8/2 2.5Y8/2		白薩摩 堅野 千鳥印
12	3T	Ⅱ	瓶	口-頸部	12.0			基質は緻密	10Y7/1 5Y8/1		白磁もしくは白薩摩
13	3T	I	瓶	口-頸部	8.2			微細な白色粒, 黒色粒	7.5Y8/2 7.5Y8/2~7.5Y4/2	18c後半	龍門司焼
14	3T	?	瓶	胴部				基質は緻密	10YR2/2 10YR2/2		加治木・始良系(元立院か?) 仏花器
15	3T	Ⅱ	瓶	底部		11.8		基質は緻密	2.5YR5/1 10Y3/2		
16	3T	I	香炉	肩部				微細な黒色粒を少量含む	10Y6/2 7.5YR7/4		肥前系青磁
17	3T	?	双耳付瓶	把手				微細な黒色粒を多量に含 む	2.5GY8/2 2.5GY8/2		白薩摩
18	3T	Ⅱ	瓶	底部		11.2		微細な黒色粒	10Y7/1 10Y7/1		白薩摩 堅野か?
19	3T	I	瓶	頸部				微細な黒色粒	5Y7/1 7.5YR8/1		白薩摩 獸耳(把手)が外れた跡あり
20	3T	I		頸部				微細な白色粒	5GY8/3 5Y8/1		近代の染付
21	3T	Ⅱ	瓶	肩部				黒色粒, 白色粒	5Y8/3 (基質) 2.5Y8/3 5Y8/3		白薩摩
22	3T	I		笠・垂木				雲母・長石を多量に含む, 白色粒, 灰白色粒	7.5Y4/1		宝篋印塔の一部か? 瓦質

史料

史料1-1 『垂城伝誌』(垂水市史料集(二)14)

宝巖山 隅州清水楞嚴寺末寺天真派松堂和尚開基曹洞宗 心翁寺

知行高百參拾石余 寺地御免地

右楞嚴寺塔司心翁院御卒去の後太宗寺と改む清水より慶長二年忠仍公鹿屋城へ取替節鹿屋へ御建立後鹿屋下大隅全御領地の節今の寺地に御建立也宝巖山を知月和尚代に五台山に改められ又道国和尚代に宝巖山に改められる也

太宗寺を寛永二年に節心寺と改められ又延宝七年に心翁寺と改められる云々開基松堂玄龍和尚寛永五年戊辰九月五日遷化鹿屋安養寺も心翁寺末寺なりしが今は楞嚴寺末寺也

史料1-2 『垂城伝誌』(垂水市史料集(二)15)

一、心翁寺地 節心公御魂屋の後に敷根中務少輔頼賀の墓有り慶長元年丙申五月五日田上城に於て卒す法号勸山教忠庵主石塔これ無き処天明年間市成領主島津右膳殿御代に御建立成られ候敷根氏田上在城の節心翁寺の地に寺建立これ有り候か慶長の頃御家中本田五郎右衛門高寺へ入寺と申し伝え候其の跡に心翁寺建立か

史料2-1 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)34-35)

一、宝巖山 心翁寺
道元和尚六世通幻寂靈和尚法嗣天真自性和尚
開基仏頂山楞嚴寺開山松堂和尚
初宝巖山又五台山今改め宝巖山
開山松堂和尚は勸請の由にて候
高百三拾石式斗九升餘
内式拾五石 久治公御簾中月清院様化粧
田の内召付けられ候現在慈船和尚代也

一、開山松堂和尚 二世丹露 三世白翁 四世龍谷 五世見外 六世慈船 七世禪室 八世東屋 九世道翁 十世梅光

一、家図一軸 久治公御寄附

一、始清水にて心翁院と号し 太宗様御葬より太宗寺と号す始は本城にこれ有りし由候不詳

一、心翁院は楞嚴寺の寺号の由にて候心翁院塔司屋敷は楞嚴寺今裏門の由にて候 節心様御死去以後寛永三年寅七月廿一日太宗寺を節心寺に相改められ候
久治様御代延宝八年申七月九日又心翁寺に相改められ候
一、牛根望海山 心翁寺末寺喜翁院
一、延宝八年五月十九日 大安様仁雄様御牌御安置
久治公御代

史料2-2 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)39)

一、心翁寺隱居屋敷本城これ有り候
一、昌岳様御牌延宝九年酉五月十九久治御安置
一、日新様大納言様御牌は 貴澄公御安置
一、又五郎様御塚は市木村見樹院の上にこれ有る由申し伝え候右御塚木の由也近年迄大杉これ有り候えども先年大風に倒れ今その跡なし
一、千法師様御塚は今御殿屋敷後小原平八前にこれ有り候由申し伝え候

一、元和九年の高帳に
高七拾石二升二合 太宗寺
高六斗壹升四合 太宗寺隱居

一、上古高寺と申す寺これ有り破壊にてその跡に心翁寺召したてらると申す儀これ有り候

史料2-2 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)39)

一、仏頂山 清水楞嚴寺
天真自性和尚開基越前前宅良慈眼寺末寺

一、太宗様御靈屋これ有り内に五輪の石塔式これ有り候功山昌全と彫付けこれ 有り候安田次郎兵衛にて候一は溪月とこれ有り下の字朽て相知らず候浜川糸右衛門にこれ有るべく候

一、御同人様御灰塚これ有り候
一、御仏餉米一ヶ年一石五斗宛 太宗様日牌料の為享保十三年申七月十一日 久典公御寄附にて候
一、御図子は大安様宝巖様右太宗様浄瑠様
右延宝七年乙未十月 大安様御夫婦御日牌料の為久治公御寄附にて候御地行古来より付けられ来たり候処 久治御幼少の節相減らされ候故かくの如し
一、寛政四年壬子五月十三日昼七ツ時焼失

史料2-3 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)39)

一、太平山 福山大安寺
上州長源寺末寺希明派
一、大安様御石塔大風にて破損延宝五年久治公御再興
一、大安様御牌御図子付 一、宝巖様御牌御図子付 一、戰場絵図一枚箱入 一、系図一軸箱入

一、高式拾石
右久治公御寄附也御地行古来より付け来たり候処久治公御幼少の節相減らされこの通りにて候上古小庵にて候を 征久公御再興にて候

一、以前は楞嚴寺觸下にて候処近代口事これ有りその後関東の觸下に相成る
一、戦亡位牌一幅 現住付潭和尚御寄附
一、寛政三年一二月晦日焼失その外町麓迄大火に

て候

史料2-4 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)40)

一、鹿屋 安養寺

一、御仏餉米毎年石五斗宛 久典公御寄附楞嚴寺末寺にて候

一、昌岳様御牌

史料2-5 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)40)

一、撐月山 新城 浄瑠寺

初心翁寺末寺にて候処近代福昌寺末寺に成る

右忠仍公御母堂より 龍伯様御存命の内より御菩提の為御建立初貫明寺と申し候今に 貫明様御牌これ有り候右貫明寺破壊いたし候処俊良長老と申す僧(垂水高城村百姓素生の人)自身建立致し福昌寺三十三世持峯和尚へ申し出し開山にて浄瑠寺と相改め候右の俊良長老は後訳これ有り小林の内へ住み替にて候事

史料2-6 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)40)

一、諏訪山 武州江戸 吉祥寺

右 久敏公御石塔有り寛永元年甲子十月十三日江戸に於いて御死去御年廿三

史料2-7 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)40)

一、 右(武州江戸)同 廣岳院

右 久重公御石塔有り正保四年丁亥八月廿二日江戸にて御死御年廿八承応三年 午八月寺地相直るに付銀子出る

史料2-8 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)41)

一、指月山 城州伏見 月橋院

右 久治公御灰塚有り御牌は住持たいゆう代に自分安置にて候

元禄五年壬申 御死去御年四拾八右月橋院に位牌安置つかまつるまじき旨太守綱貴公御定にて候

史料2-9 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)41)

右(城州伏見) 高月院

右 征久公御牌有り御靈屋は佐土原高月院に有り慶長十五年戌四月九日御死去御年六拾壹京都五條川原にて殉死肝付治部左衛門日高大炊左衛門猿渡九郎兵衛久保権太左衛門山口藤兵衛

史料2-10 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)42)

一、大安寺

右 征久公種子島より御同心にて垂水御在城の節正巖寺のほきの口に御建立にて其の後佐土原へ御同心の由申し伝え候垂水にて高六拾石御寄附湯屋平門又野里村の内一門召し付けられ候由垂水にても大安寺と唱え候か不詳

史料2-11 『隅府温故集』(垂水市史料集(二)56-57)

一、忠仍公寛永十四年丁丑五月十一日鹿屋にて御逝去御年五十三安養寺に葬り奉る殉死岩元水之助にて候

一、正保四年八月廿二日 久重公江戸にて御死去御年廿六同十一月十五日心翁寺にて御葬送の時田中正興坂元正安殉死正興は田中伝兵衛正安は坂元正九郎左衛門兩人御茶道坊主の由候石塔英関様御靈屋前の左右にこれ有り候もつとも西坂元

東田中にて候

一、福山様大安様御石塔は延宝五年破損にて 久治公御再興也忠将公御戦死以後十五年以來天正三年乙亥仲冬以久公御建立

御石塔之銘

曩祖島津右馬頭忠将公忠死之後諡心翁寺大安大居士遺跡石塔踴然于今爾來百有余揔矣其戰攻忠烈今昔之所称也不図今十月初三大風起拔不飛柯塔刃古木転倒而觸着宝塔忽破壊矣噫

忠将公予正統之祖也報本追遠矣豈不補哉起新造石塔輝其旧制庶至後世不朽也

七世孫島津美作守藤原久治欽再之

時延宝五年歲舍丁丑○天上旬(○は月に単)

【略】

一、帖佐へ大安様御経塚これ有り候永禄丁卯七月十二日同死六拾人孝子敬白とこれ有り候御戦死より御七回忌に相当り候 以久公御建立相見え候永禄八年丑八月廿四日 以久公帖佐郷御拜領にて候

【略】

史料3-1 『垂城録』(垂水市史料集(二)75-76)

一、宝巖山 曹洞宗 菩提所 心翁寺

飯屋元より卯の方四町四拾九間

清水楞嚴寺末寺

初宝巖山又改め五台山今改め宝巖山

一、木像文殊菩薩 立像高さ八寸

一、阿彌陀立像 高さ二寸六分

一、薬師立像 高さ一寸六部

一、観音立像 高さ一寸七部

右日新公御本尊の由にて元禄五年申正月光久公より新納市正様拜領之有り玄藩久直主奥方へ市正様より相譲られ当寺へ元文三年戊午二月廿三

日安置致され候もつとも作者は三鉢共に丹慶作

一、開山は楞嚴寺十四世松堂玄龍和尚にて候寛

永五年戊辰九月五日遷化

一、高百參拾石余 領主より寄附

一、永祿四年清水に於いて右馬頭忠將主菩提の爲

に楞嚴寺の境内に一字を建立し心翁院と唱

え申し候其の後文祿年中改めて心翁天宗

寺と号し右馬頭征久主垂水に建立致され寛

永三寅と心翁寺改めて天宗寺節心寺と号し延宝八

年又心翁寺と相改められ候

一、正保四年玄藩頭忠紀主死去の節光久公より

御追善の文一通給わされ候御筆の由にて候

一、日新様大中様御位牌美作貴澄主これを願ひ

上げ安置致され候

一、当寺地は伊地知領地の頃高寺と申す寺これ

有り破壊の跡にて候由申し伝えども建

立の訳何宗と申す儀も相知り申さず候

史料4-1『三國名勝図会 卷之四十四 大隅郡垂水』

(三國名勝図会 26)

寶嚴山心翁寺 領主館より卯の方、四町餘、田上村に

あり、清水楞嚴寺の末にして、曹洞宗天真派なり、

本尊釋迦如來、開山松堂會龍和尚、楞嚴寺十四世、

寛永五年戊辰九月五日、遷化、當寺は永祿四年、

島津右馬頭忠將、福山に戦死の後、菩提の爲に、

楞嚴寺内に建立し、心翁院と云、心翁の二字は、

忠將の法號なり、文祿四年、忠將の孫守右衛門尉

彰久、朝鮮に卒し、遺體を楞嚴寺へ歸葬し、法諡

の二字を采て、天宗寺と改め、寶嚴山と號す、寶

嚴は、忠將室法名なり、其後當邑に移せり、寛永

元年彰久の孫、又四郎敏、武州江都に卒す、同三

年、又法諡の字を以て節心寺と改め、延寶八年、

又寺號を心翁寺と改む、初め當寺の地は、伊地知

氏領地の頃、高寺といへる精藍ありて、破壊の跡

に建立せしといふ、當邑の菩提寺とす、當寺の殿

宇結構壯麗にして、華彩日に映す、客殿には、寶

嚴山の額を掲ぐ、元祿四年、琉球の渡清使に憑て、

清國福州明哲和尚 臨濟三の十三世僧に請ふて、

是を書せしむ、康熙辛巳三月吉旦とあり、當邑に

當寺の末寺多し、田上村に龍門軒 此寺は下に出

す、金藏寺、福壽寺、海瀉村に、松岳寺、臨海庵、

垂水村に、西福寺、宗福寺是なり、

○秋葉宮 當寺の境内池中にあり、

○天照大神宮 當寺の門側にあり、

史料5-1『垂水領主島津家譜』(垂水市史料集(八)

17-18、22-23)

初代 忠將

【略】

一、佛頂山楞嚴寺は、天真自性和尚開基之寺也。本田

氏世々之を崇敬す。忠將も亦婦依渴仰す。故に寺

門之繁榮旧日に倍すと。

【略】

一、同(永祿四年)七月十二日、肝付之徒、日州伊東

氏之援を請ひて、大軍を分けて、大塚古城に対し、

銳兵五百を率て、寅の一点より、竹原山を囲むこ

と甚急なり。忠將此危急を聞て、兵士を陣營に留

めて、單騎之を救はんと欲す。家老町田加賀守忠

林轡を執て之を諫む。忠將聽かず。肝屬之伏兵、

悉く起て急に逼る。忠將指揮奮戦して、数々重圍

を突くと雖、出ること能はず。遂に乱軍の中に戦

死す。是に於て、町田加賀守、其子軍四郎、石谷

田幡、野田律師、宇宿大学左エ門、酒匂源左エ門、

三馬兵庫、能勢十郎次郎、有馬与一兵エ、野口宮

内左エ門、池山備後、竹下和泉、調所新左エ門、

坂本一弥太以下相従ふ勇士三十余人力戦して而し

て死す。是に於て、新納又八郎、大寺大炊、稲田

石見、春成助三郎、敷根掃部兵エ 或云掃部左エ

門、澤右エ門、京幡左近、宮原三郎兵エ以下廿余

人、太守公之陣より救ひ来て、而して俱に戦死す。

此虚に乗じて、省釣、重興、重長、日州恒吉に向

て退去す。時に忠將四十二歳、法号心翁大安居士。

清水楞嚴寺に葬る。

【略】

一、佐多上野守忠成の女を娶りぬ。天正二年甲戌六月

七日卒す。享年

法号宝嚴妙珍大姉。楞嚴寺に葬る。灰塚は清水郡田村

の小城に在り。

一、宝嚴妙珍大姉 下大記

證得従前衣裏珍 光明照徹到塵々

南方不隔即心佛 物外乾坤眼界新

恭惟功德主 宝嚴妙珍大姉

忽省=夢幻境= 直下入= 無生真=

全機已活脱 把= 断凡聖要律=

孤朋也 獨照也 古今總絶倫

於= 解脱門頭= 不= 辨= 善惡= 二因=

向= 大圓鏡上= 無= 見= 生死兩倫=

泥牛入海没= 蹤跡=

木馬嘶= 風却空= 春

雖= 然= 与廣= 末山不= 露大自在底之勺

如何 擲下火把云

欲= 識= 大人真妙相=

虚空半夜笑聞々

前永平大安祖開勝嚴叟述焉

史料5-2-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 23)

(初代忠將) 女子 入来院彈正少弼重豊の室

【略】

一、天正九年辛卯五月八日卒す。享年四十八。法名英

忠節心大姉。

史料5-2-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 24、30、31、32)

二代 以久

【略】

一、一字を建立して、心翁院と号し、楞嚴寺の塔頭と為す。

【略】

一、永祿十年丁卯七月十二日、大安居士十七回忌に当り、大乘妙典一千部の経を帖佐郷に供養す。

経塚は東餅田之内に在り。

経塚銘、為心翁大安居士者也

奉読誦大乘妙典一千部 孝子敬白

永祿丁卯七月十二日

人十六土戰同

【略】

一、同年、以久清水より種子島に移る。此時清水楞嚴寺の塔頭心翁院を種子島之内ノ池田に移す。

【略】

一、慶長四年、心翁院を垂水の城下に移して、天宗寺と号す。

【略】

一、同(慶長)十五年庚戌四月九日、城州伏見に於て卒す。享年六十有一。法号、仁雄宗恕居士。高月

院に葬る。牌は京都の大雲院に在り。

此時、肝付治部右エ門兼弘、日高大炊兵エ、猿

渡左近允、久保権太左エ門、山口藤兵エ、京都

五条川原に於て殉死す。

一、北郷左エ門尉時久入道一雲齋の女を娶る。後離別

也。元和九年癸亥六月九日、都之城池上に於て卒

す。龍峯寺に葬る。法号、考慶龍樹大姉

史料5-2-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 32)

(初代忠將) 女子 島津図書頭忠長室

【略】

一、寛永四年丁卯二月八日、卒す。享年七十四。法名、楊窓妙宣大姉。

【略】

史料5-3-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 34-36)

三代 彰久

【略】

一、文祿四年七月五日、彰久重病に罹り、朝鮮国巨濟の陣中に死す。傳に唐語といふ享年二十有九。家老町田傳右エ門忠堯。遺骨を供養して帰朝す。清水楞嚴寺に葬る。法号は天宗慈雲大禪定門、導師松堂玄

龍和尚、安田次郎兵エ義次、濱川糸右エ門殉死す。

此時心翁院を改めて、天宗寺と号す。

【略】

一、同年(文祿四年)八月十日、義久公追悼之文を賜ふ。曰く

天宗慈雲は孝儀をおもんじ、れいならざるもいとわず、朝鮮から嶋といふ所へ渡海せしめ在陣

ほどひさしきに、無しやうのかせにさそはれし

は、もろこしの式拾四人の心さしにもおとりや

はすべきとこそおぼえて侍れ。

かへるべきみちをもしらて葛のはよ

なにしら露の玉と消らん

とこととは有はてぬべき身ならねは

ほとけも今は名のみなりけり

文祿四年八月十日

【略】

一、寛永十八年辛巳八月十五日、新城に卒す。享年七十九。法号は翫月淨珊庵主、新城貫明寺に葬る。殉死は留山助兵エ、又女一人。姓名を失す

【略】

史料5-3-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 36)

(二代以久次男) 忠重

【略】

一、慶長五年庚子惟新公に随ひ、関ヶ原の重圍を破て帰路に赴く。途中敵に逢て戦死す。享年廿八。法号、壽昌寺兩庵定暁居士

【略】

史料5-3-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 36)

(二代以久長女) 女子

【略】

一、寛文八年戊申三月廿日卒す。法号花庭玉蓮大姉

【略】

史料5-3-4 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 36)

(二代以久三男) 忠興

【略】

一、寛永十四年丁丑六月十一日、武州江戸に於て卒す。享年三十九。法号は宗譽原隆青蓮院。

【略】

一、忠興の二男島津主膳久富、江府之幕下に在て、

將軍家に昵近たり。此子孫は島津山城守久府一、同三男島津又右エ門久遐は佐土原に住す。此子孫は島津又次郎

史料5-3-5 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 40

【略】(二代以久次女) 女子

一、早世、法号は桂昌芳林大姉

史料5-4 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集(六)

40)

【略】四代 久信

一、寛永十四年丁丑五月十一日、鹿屋に於て卒す。享年五十三、法号は昌嶽元盛居士、安養寺に葬る。殉死者は岩木水之助。

水之助之子孫今鹿屋

中名村西之谷に在り。

一、島津中務大輔家久の末女を娶り、後に離別也。肥後求麻城主相良内藏之助頼安に嫁し、寛永五年戊辰九月廿一日、求麻に於て卒す。享年四十六、法号は船月窓鉄大姉。

一、寛永六年己巳十月二日、又十郎久貞、伊集院丹後をして、求麻に至て喪を弔せしむ。

史料5-5-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 40-41)

【略】五代 久敏

一、寛永元年甲子。江戸に於いて、瘴癘に罹る。疾病なり。世子無きに依り、家臣濱田九右衛門貞倚、

肥後権左エ衛門をして、薩州に帰て養子之事を太守家久公に訴へしむ。島津下野守久元、公に告ぐ、公、三男又十郎久貞を以つて、養子と為す。公、

白銀一〇枚宛権左エ衛門、九右衛門に賜ふ。

一、寛永元年甲子十月十三日、武州江戸に於て卒す。享年二十有三。法号は節心良忠大居士。江戸吉祥寺に葬る。

伝曰、此時家臣高野掃部助、野口主馬、前田与右エ門出家して、吉祥寺境内に寓居し、久敏の菩提を弔ふ。後太守公之命に依り、濱田九右エ門をして、吉祥寺住持用鶴和尚に告げ帰国して還俗せしむ。時に寛永二年七月廿八日也。

【略】

一、同(寛永)三年丙七月廿一日、天宗寺を改めて節心寺と号す。

【略】一、母堂は求麻に在りて計を聞き、寛永元年十一月十七日、西小市をして、香奠銀三千疋を以て、喪を弔せしむ。

史料5-5-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 41)

【略】(四代久信二男) 忠政

一、元和九年癸亥十月九日卒す。享年十六。法号は幻心聚泡大禪定門、神主を鹿屋安養寺に置く。伝曰、市木村見樹院之後園に葬る。

史料5-5-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 41)

【略】(四代久信三男) 千法師

一、同(慶長)二十年乙卯六歳早世。

伝曰、廐屋敷に葬る。

史料5-5-4 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 41-42)

【略】(四代久信四男) 久章

一、同(寛永)十七年庚辰、光久公の命に依り、使節を奉じ、閏十一月廿三日、江戸に至り、將軍家に見えんと欲す。而も果さず。同十八年四月十四日、江戸を發して帰路に赴く。五月二日、京都に至り、五月十七日、太守公に背き、高野山に入り、蓮金院に隠る。是に於て、木之下御屋敷藏奉行伊地知本右エ門、御用人平田狩之助、之に説く、狩之助は太守公の命に依り京都に在り。久章諾して薩州に帰り、川辺宗福寺に寓居す。正保二年十二月十二日、谷山昌泉寺に於て誅に伏す。享年三十。法号は松月庭栢居士領地没収也。家臣の戦死者三人。財部権之丞、山下才七、山下才也。

或書、是より先太守久章をして、使者として、東部に赴かしむ。道路之間に遅々たり。島津久元、武府にありて、其使者を勤む。久章之を聞き、則ち且つ恨み、且つ怒りて、高野山に入る。然る後、太守使を馳せ、久章をして帰国せしむるもの也。

史料5-5-5 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 42)

【略】(四代久信五男) 久眞

一、延宝七年己未九月廿九日、死。法名は仙叟雲英居士。

史料5-5-6 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 42)

(四代久信六男) 久盈

【略】

一、寛文三年癸卯十月五日、卒す。法号は心芳得菴居士。新城淨瑠寺に葬る。世子無嗣絶ゆ。

史料5-5-7 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 43)

久貞 後久直

【略】

一、同(寛永二年)十月十一日、大守公、福昌寺に於て、久貞母堂の法事を修す。久貞、天宗寺住僧をして、祭文を献ぜしむ。

史料5-6 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集(六)

45)

六代 忠紀

一、同年(寛永十五年)二月二十三日、黄門家久公卒す。同三月十日、法事を修む。忠紀祭文を献ず。

【略】

一、同(正保)四年丁亥八月廿二日、夜、武州江戸に於て卒す。享年二十有六。法号は陽廣院殿鴻臚卿

玉峯英閔大居士。廣岳院に葬る。(承應三年八月晦日、廣岳院は今の二本榎寺地に移る。)即日家臣

宮原権右衛門をして、訃を垂水に伝へしむ。九月九日垂水に着す。

一、同九月十二日、大樹家光公、林丹後守をして太守公之第に来て、之を弔はしむ。

一、同月十四日、太守公、川上十左エ門をして、白銀五十枚、米三十石を賜ひて、香奠と為さしむ。

一、同月廿四日、太守光久公、中江早右エ門をして、

喪を弔せしむ。

一、同十月十八日、遺骨は東海を廻て垂水に着く。公命に依て、伊藤新右衛門、猪俣伊右衛門、之に従ふ。

一、同十一月十二日夜、遺骨を節心寺に葬る。此夜、田中傳兵五正興齋、坂本九郎左衛門正安齋。殉死す。

一、同十一月廿日、太守光久公、中江有山をして、追悼之文を賜ふ。

文曰

惟正保四年歲在丁亥八月二十二日庚寅謹告干陽廣院玉峯英閔居士之靈焉半世

居諸可謂須臾不意一夜西風落紫荊往事蕭條而一別秋也憾淚滂沱而雙眼

雨也嗚呼噫嘻時耶命耶何其天道無常乎知悲無役奈恨不己越裁野詩聊

伸哀情云

吊祭 二十餘霜一夢存 覺來流淚似傾

益

色身壞處滅非 滅 蕙氣散時昏不 昏

月落烏啼聞有 恨 雲興龍上見無 痕 秋風吹入 空山 去 雨打 芭蕉

正斷魂 一、正保五年戊子八月二十二日、法事を節心寺に修む。此時光久公、鎌田又七郎をして、来て折一合、樽一荷を賜はしむ。

一、同年九月七日、信国の脇指刀を光久公に献ず。遺物として也。

一、桂山城守忠能の女を娶る。萬治元年戊戌九月廿八日卒す。法号は蘭秀白芳大姉。節心寺に葬る。

史料5-7 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集(六)

51-53)

七代 久治

【略】

一、延宝七年己未十月、節心寺を改て、旧名に復す。心翁寺と号す。此時、三十石之采地を割きて、大安寺に二十石、楞嚴寺に十石を寄附し、祖先之菩提を修め、廢を興し、旧を復す。是故に、忠將より久治に至るの家譜一軸を記し、楞嚴寺、大安寺、心翁寺に納む。

【略】

一、同(延宝)九年辛酉七月十二日、忠將、以久、久信之神主を心翁寺に置く。

一、同(元禄)五年、公の駕に隨ひ、虎安丸を伴て、帰国に赴く。同七月廿七日、不幸にして、重病を受け、城州伏見に於て卒す。享年四十八、法号は聚徳院殿慈鑑照海大居士、月橋院に葬る。同八月廿一日、遺骨垂水に着く。葬式を修む。導師南林寺吉州淳長和尚。月橋院境内に石塔無し。灰塚あるのみなれば神主住持の僧之を安置すと云

坂元十右エ門盛基、自總角歳近侍久治最有寵。元禄四年、久治如江戸。盛基従之。同五年七月、久治赴帰路、卒於伏見。同八月、遺骨着垂水。盛基従之、如妻スルガ父母。常在廟前、哀哭甚矣。明年七月、剃髮改名惠安ト。別妻

子結庵於心翁中。朝夕採香花或酒掃墓間如二在時。晝夜誦誦大乘妙典一至一萬九千部。不預人間之事。終身於佛道、可謂勤矣。享保十年乙

已十二月十三日卒、年七十八

久治在世の時高十石を盛基に賜へり。心翁寺本門の西の地が惠安御庵の跡なり。或云、惠安に賜ふと、

一、公室綱貴公黒葛原治部をして香奠銀二十枚を帰らしむ。

一、世子吉貴公公上村茂兵エをして来て香奠銀十枚を帰らしむ。

一、太守光久の二女に尚す。元禄三年庚午九月廿三日卒す。享年五十有一。法号 是月清院殿瑚窓

貞珊大姉。心翁寺に葬る。導師福昌寺堯祝和尚

史料5-8 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集(六) 55-56)

八代 忠直

一、宝永二年乙酉、公室、忠直をして、大玄公 綱貴公 なり の遺髪を高野山に供養せしむ。閏四月五日、諸れを高野山の奥の院に納む。

【略】

一、同月(正徳元年六月) 廿五日、卒す。享年二十有

四。法号は性空殿浄海即瀧大居士、心翁寺に葬る。導師は福昌寺の大春和尚。

一、同年九月六日、公室 吉貴公也、諏訪市右エ門をして来て、香奠銀十五枚を帰らしむ。世子 繼豊公 也 も亦讚良権左エ門をして来て香奠銀五枚を帰らしむ。

一、同三年癸巳四月、久典、家臣梅本仲納右エ門をして、忠直の遺髪を高野山に供養せしむ。臨海庵の良長之に従ふ。厚地徳元、請ふて之に従ふ。

一、新納市正久珍の女を娶れり。元文三年戊午二月十一日卒す。享年四十二。法号は、芳正院殿元明自

覚大姉。心翁寺に葬る。導師は同寺の高恩和尚。

一、寛保二年壬戌八月十八日、家臣桑波田政右エ門をして遺髪を高野山に供養せしむ。

一、元文三年二月十三日、公室 繼豊公、人をして香奠銀十両を帰らしむ。同日、須磨姫主伊地知才右エ門をして、来て、金二百疋を帰らしむ。同十六日、信證院夫人、橋元七右エ門をして、金百疋を帰らしむ。栄姫主、小川喜平次をして金百疋を帰らしむ。

一、同月十八日、中陰法事を修す。老公 吉貴公也 人をして来て、香奠銀十両を帰らしむ。信證院夫人、栄姫主、各金百疋を帰る。須磨姫主金二百疋を帰る。

史料5-9-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集(六) 56)

(八代忠直長男) 安二郎

一、同(宝永) 五年戊子四月一三日夭。法名は秀嵩幼松童子。心翁寺に葬る。

【略】

史料5-9-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集(六) 56)

(八代忠直長女) カヤ

一、同(宝永) 六年己丑五月一五日、夭。法号は露幻稚白童子。同寺(心翁寺)に葬る。

【略】

史料5-9-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集(六) 56)

(八代忠直二女) 鎌鶴 (九代貴備室)

一、元文元年丙辰六月廿三日、卒す。享年二十七。法

名は蓮池院殿。

史料5-9-4 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集(六) 60、66、75)

九代 貴備

一、同(元文) 三年戊午十一月十一日、公室、貴備及寫津周防忠紀、寫津兵庫久門を以て、御一門家と為す。藩中の貴族を一所持と曰ふ。是に至て第一等の貴族と為し、礼遇常に超ゆ。

【略】

一、宝暦五年乙亥八月、圓徳公重年公也中陰の法事を福昌寺に修む。貴備、祭文を献ず。

【略】

一、同(寛政) 三年辛亥三月十日、垂水に卒す。享年八十四。法名は量泰院殿寛應静山大禪伯。心翁寺に葬る。導師は福昌寺の岱田和尚。

一、公室 齋貴公也 迫水善左衛門久芳をして来て、香奠三十両を帰らしむ。老公 重家公也 亦銀二十両を帰る。後法事を修むる毎に、重家公、人をして来て、花と香とを帰らしむ。

一、寛政三年辛亥五月七日、貴澄、高野市衛門昌武をして、貴備の遺髪を高野山に供養せしむ。僧道國、之に従ふ。

一、配は忠直の女、元文元年丙辰六月廿三日卒す。享年二十有七。法名、蓮池院殿即心成覚大姉。心翁寺に葬る。

一、同月同日、老公(吉貴公) 森川孫太郎をして、来て香奠銀一枚を帰らしむ。信證院夫人、赤崎彦兵衛をして、香奠金五百疋を帰らしむ。栄姫主鎌田勘助をして、香奠金百疋を帰る。

一、同年九月廿五日、太守公 繼豊公 本田孫右エ門をして来て香奠銀十両を帰らしむ。公夫人金百疋

を帰る。

- 一、寛保二年壬戌八月十八日、桑波田政右衛門をして蓮池夫人の遺髪を高野山に供養せしむ。

史料5-10-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 75)

(九代貴備長女) 富

【略】

- 一、延享二年乙丑十一月七日、卒す。年十九、法名は正覚院殿貞範妙雅大姉。加治木長年寺に葬る。

- 一、明和五年戊子六月十三日、重豪公、神主を福昌寺に置く。

史料5-10-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 75-76)

(九代貴備次女) 秀

【略】

- 一、同(享保)十四年己酉八月十九日、卒す。法号は高月幻影童子。心翁寺に葬る。

史料5-10-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 76)

(九代貴備長男) 鍋十郎

【略】

- 一、同(享保)年十二月十九日、夭。法号は雪庭幻消童子。心翁寺に葬る。

史料5-10-4 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 76)

(九代貴備次男) 清五郎

【略】

- 一、同(享保)年十月三日、夭す。法号は覺本幻性童子。臨海庵に葬る。

子。臨海庵に葬る。

史料5-10-5 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 76)

(九代貴備三女) 銀

【略】

- 一、天明四年甲辰八月廿五日、卒す。年五十三。法号は清浄院殿妙理日解大姉。華嚴寺に葬る。

史料5-10-6 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 79)

(九代貴備四男) 斐苗

【略】

- 一、文化八年辛未二月二日、卒す。法名廣源院殿岷山濫觴大居士

史料5-10-7 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 79-80)

(九代貴備五男) 庄次郎

- 一、文化八年辛未正月六日、卒す。年七十。法号、宋觀院殿雪巖克明大居士。

史料5-10-8 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 80)

(九代貴備六男) 將親

- 一、同(宝曆)十一年辛巳十一月七日、卒す。年十九。法号清雲院圓明月心大居士。心翁寺に葬る。

史料5-10-9 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 80)

(九代貴備五女) 薫 島津久柄室

- 一、文化六年己巳九月廿六日卒す。年六十六、法号瑞

林院殿廉譽馨室大姉。

(九代貴備七男) 長 菱刈實祐室

- 一、同十一年辛巳十二月廿九日、卒す。年十九、法号、台雲院殿峨山玄惠大居士

史料5-10-10 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 80)

(九代貴備七女) 傳

- 一、文政四年辛巳十一月五日、卒す。年七十二。法名樹昌院梅室妙香大姉。心翁寺に葬る。

史料5-10-11 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 77-79)

一〇代 貴澄

【略】

- 一、同(安永五年二月)月十三日、日新公大中公神主を心翁寺に置く。

【略】

- 一、文化四年丁卯三月五日、垂水にて卒す。享年七十。法号は景德院殿恕山元宥大居士。心翁寺に葬る。

導師は福昌寺の自巖和尚。

一、公室 齋宣公也 二階堂左門行禮をして、来りて香奠銀三枚を帰らしむ。老公 重豪公也 世子 齋興公也 も亦各銀二枚を帰る。

一、文化五年戊辰正月廿八月、貴品、伊集院吉左衛門兼愷をして、貴澄の遺髪を高野山に供養せしむ。

見樹院の長順が之に従ひ、宮原源左衛門景雄も請ふて之に従ふ。同三月五日、諸を高野山の奥の院に納む。

一、島津左衛門久甫の女を娶れり。文政七年甲申八月七日卒す。享年八十九。法名慈誠院殿觀月妙相大姉。心翁寺に葬る。導師心翁寺の照峯和尚。

一、同(享保)年十月三日、夭す。法号は覺本幻性童子。臨海庵に葬る。

史料5-10-12 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 80)

(九代貴備次男) 清五郎

【略】

- 一、同(享保)年十月三日、夭す。法号は覺本幻性童子。臨海庵に葬る。

一、文政七年甲申十月朔日、公室 齋興公 大老公 重豪公 老公 齋宣公 世子 邦九公 山田助左衛門をして、来て香奠銀十両を帰らしむ。

史料5-11-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 80

(一〇代貴澄長男)

【略】

一、同(宝曆八)年十月十三日、天、法号、幻成浮月大禪童子、心翁寺に葬る。

史料5-11-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 80

(一〇代貴澄長女) 權 (貴品室)

【略】

一、天明六年丙午九月十日、卒す。年二十八。法号清蘭院殿玉室貞香大姉。心翁寺に葬る。

史料5-11-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 81

(一〇代貴澄三女) 道

【略】

一、享和三年癸亥閏正月十日、卒す。年三十七。法号は法薫院殿心一華鮮大姉

史料5-11-4 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 81, 82

一二代 貴品

一、文化十三年乙亥五月七日、卒す。年六十。法号宝覚院殿仁峯宗寛大居士。心翁寺に葬る。導師は福昌寺の自嚴和尚。

一、同年八月十八日、公室 齋興公 宮之原甚五兵衛を

して、来て香奠銀二枚を帰らしむ。大老公 重豪公 老公 齋宣公 同人をして各銀一枚を帰らしむ。

一、貴澄の女を配す。法号、清蘭院。導師、福昌寺の円山和尚。

一、天明六年丙午十一月十四日、重豪公、使をし香奠銀十両を帰らしむ。

一、後、島津図書の女を娶る。文化十四年丙子五月四日、卒す。年五十三。法号、芳岸院殿寒窓梅玉大姉。心翁寺に葬る。導師は、心翁寺の照峯和尚。

一、文化十四年七月二十日、公室 齋興公、調所笑左衛門をして、来て香奠銀一枚を帰らしむ。

史料5-12-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 82

(一二代貴品長女) 圃袈袈

【略】

一、同年十月十一日、天。法号、玉心霜禪童女。心翁寺に葬る。

史料5-12-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 83, 84

一二代 貴柄

一、四年癸巳十月四日、卒す。年四十三。法諡靈源院殿皎雲静水大居士。心翁寺に葬る。此年十一月廿九日、太守齋興公、島津相馬久平をして、府第に齋来て銀二枚を賜ひ、香奠に供せしむ。時に老公

齋宣公 世子 齋彬公 亦銀各一枚を賜ひ、香奠に供せしむ。

一、貴柄初の室は、島津周防忠救の女。文化十四年丁丑七月廿九日、卒す。年二十七。法名は涼相院殿殊林妙香大姉。心翁寺に葬る。同八月十日、齋興

公、使を遣はし、銀一枚を賜ひ、香奠に供せしむ。一、再娶は義岡左平太久賢の女。文久三年癸亥二月廿九日、垂水にて卒す。年七十。法名、清草院殿觀室慈音大姉。心翁寺に葬る。三月七日、太守茂久公使を遣し、第に来て銀一枚を賜ひ、香奠に供せしむ。

史料5-12-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 84

(一二代貴品二女) 欽

【略】

一、(寛政)九年丁巳七月九日、天、年五歳。法名、幻珍浄玉大禪童女。心翁寺に葬る。

史料5-13-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 87

(一二代貴柄長男) 謙次郎

【略】

一、四年丁卯七月廿七日、夭亡す。年僅に二歳。法名、瑤樹院嫩窓如桂大禪童子。心翁寺に葬る。此年十月四日、齋宣公、二階堂左守行佐をして、香奠を齋

し来て、府第に干て銀一枚を賜はしむ。特に老君重豪公 世子 齋興公 亦各金二百疋を賜ひ、香奠

に供へしむ。

史料5-13-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集)

(六) 87

一三代 貴典

一、元治二年乙丑正月十八日、垂水に於て卒す。年五十六。法諡は賢徳院殿仁翁栖山大居士。心翁寺に葬る。導師は心翁寺の知證和尚、同日、太守茂久

一、元治二年乙丑正月十八日、垂水に於て卒す。年五十六。法諡は賢徳院殿仁翁栖山大居士。心翁寺に葬る。導師は心翁寺の知證和尚、同日、太守茂久

公、新納織之丞をして、銀二枚を府第に齎らし来て香奠に供せしむ。特に久光公も亦銀一枚を賜ひ、香奠に供せしむ。

一、室は島津山城忠寛の女。明治九年丙子八月七日、卒す。年六十四。旧六月十八日 命号、眞注連張間

姫命。川添別荘地之内に葬る。同日、旧知事忠義公、金二百疋を賜ひ、幣帛に供せしむ。

一、久光公、藤井十郎をして、金二百疋を賜ひ、幣帛に供せしむ。

史料5-13-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 88)

(一二代貴柄三男) 将雄

【略】

一、(文政) 九年丙戌三月十二日、病卒。年十四歳。法名、英章院殿芳台知雄大居士。心翁寺に葬る。

史料5-13-4 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 88)

(一二代貴柄五男) 将盈

【略】

一、同(天保五年) 十月十六日、卒す。年十六歳。法名、淳聰院殿天質知曉大居士。心翁寺に葬る。

史料5-13-5 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 88)

(一二代貴柄二女) 經

【略】

一、萬延元年庚申二月廿七日、卒す。年三十九。法名、松仙院殿。

史料

史料5-14-1 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 89)

(一二代貴典長女) 雅

【略】

一、天保五年甲午六月十三日、夭亡。年僅に五歳、法名若臺院殿瑤池貞薫大禪童女。心翁寺に葬る。

史料5-14-2 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 90)

(一二代貴典次男) 尚次郎

【略】

一、同(天保) 五年甲午十月廿一日、夭亡。年僅に二歳。法名、圭林幻光禪童子。心翁寺に葬る。

史料5-14-3 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 90)

(一二代貴典三女) 銀

【略】

一、(天保) 九年戊戌七月四日、夭亡。僅に二歳。法名湖海幻殊禪童女。心翁寺に葬る。

史料5-14-4 『垂水領主島津家家譜』(垂水市史料集

(六) 91)

(一二代貴典四女) 哲袈裟

【略】

一、(天保) 十四年癸卯閏九月二日、夭亡。僅に五歳。法名哲相院殿秋苗不秀禪童子。心翁寺に葬る。

史料6-1-1 『法規類纂』(垂水市史料集(1) 142)

一 御服忌二而茂御國旧式之御神事等者、古例不欠様御名代参被仰付候、

史料6-1-2 『法規類纂』(垂水市史料集(1) 143)